

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-63	高等学校	外国語科	英語コミュニケーションⅢ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	C III708	Crossroads English Communication III		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法並びに学習指導要領に則って、外国語を学ぶことを通じて、豊かな人間性と創造性、自律性を備えた人間として、我が国の形成・発展に貢献できるとともに、国際社会の平和と発展に寄与できる人材を養うための教科書を目指し、下記のような点に配慮した。

- ◎国際社会の一員として幅広い知識と教養を身に付けるために、生徒にとって身近な話題から、社会的・国際的な視点につながるような題材を教材とした。
- ◎英語という言語を使って考えたり自分の意見を人に伝えたりするための言語活動をバランスよく取り入れた。
- ◎生徒が主体的、自律的な学習者となり、生涯にわたり外国語学習を続けられるために必要な英語の知識・技能や学習法のヒント等を言語活動やコラム等で示した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Unit 1 Crossing Barriers	日本に住むさまざまな文化背景を持つ人々が抱える問題を理解し、多様性について考えることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp.14-26
Unit 2 Sports People	スポーツにおける多様性を理解することで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第3号)	pp.28-40
Unit 3 Ethical Consumption for a Sustainable World	フェアトレードやエシカル消費について理解することで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。(第4号)	pp.42-54
Supplementary Reading 1 Finding Flow	心理学におけるフロー状態を理解することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp.56-62
Unit 4 Saving Agriculture	世界の食糧問題の現状を知り、スマート農業を通してその解決策を考えることで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。(第4号)	pp.64-75
Unit 5 Sustainable Cities and Communities	アルベルゴ・ディフーズによる持続可能な街づくりについて理解することで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。(第4号)	pp.76-87

Unit 6 Language and Thought	言語が人間の思考に与える影響を理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp.88-99
Supplementary Reading 2 Working to Support Astronauts	宇宙飛行士とそれを支える人びとの活動について理解することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指した。(第2号)	pp.100-107
Unit 7 How Can We Make a Peaceful World?	元アメリカ合衆国大統領バラク・オバマが被爆地広島で行ったスピーチを理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp.108-119
Unit 8 Empathy and Human Beings	人間の心の誕生について進化論の観点から理解することで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第3号)	pp.120-131
Supplementary Reading 3 International Assistance: Interview with Ogata Sadako	元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏が国際協力について語った対談を読んで理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp.132-137

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条に掲げられた目標を達成するため、実用的な英語運用能力の育成と、生涯にわたって学習を継続する自律的学習者育成を目指し、下記のような点に配慮した。

- ◎4技能5領域を統合した活動を工夫し、そのバランスのよい育成を目指した。
- ◎文法はコミュニケーションを支えるものという立場に立ち、実際に英語を使用する場面を多く設定した。
- ◎英語で授業が進めやすいよう、指示文はすべて英語とした。
- ◎学習者個々の特性に配慮して、使用するフォントの一部にユニバーサルデザイン (UD) フォントを採用した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-63	高等学校	外国語科	英語コミュニケーションⅢ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	C III708	Crossroads English Communication III		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### (1) 4技能5領域を一体的に育成する。

- ・ 日常のおよび社会的な話題について、聞いたこと、読んだことの概要や要点、話し手や書き手の意図を把握することができるように、確認問題を充実させた。
- ・ 読んだことの内容を整理し、自分のことばで伝えることができるよう、リテリング（再話）やノートテイキングの活動を充実させた。
- ・ 聞いたり読んだりした内容やテーマについて、自分はどう考えるか・どう思うかを話し合う、発表する、書くなどの活動を充実させた。
- ・ Unit全体のテーマに関するトピックについて、調べて発表する活動を盛り込んだ。

### (2) 重要なテーマについて多様なインプットを与える。

- ・ 高校生に考えてほしい重要なテーマをトピックとして選び、多様で多角的な視点をもったインプットを与えるために、Unit 1～3では2つずつのリスニング教材とリーディング教材を用意した。
- ・ 特に「聞くこと」を充実させるために、まとまった内容と分量のリスニング教材を用意した。

### (3) コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識させる。

話すことや書くことの言語活動において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識した活動を用意した。

### (4) 指導しやすく、学びやすい教科書。

- ・ 生徒の学習意欲を高めるため、生徒に身近な話題を多く取り上げ、そこから社会的な視点につながるよう工夫した。
- ・ Unit内のそれぞれの言語活動が有機的なつながりを持つよう工夫した。
- ・ 活動のステップを明示化し、具体例を示すなど、活動をスムーズに行えるよう工夫をした。
- ・ 写真やイラストを多く配置し、視覚的な面からも内容理解が容易になるよう工夫した。
- ・ 二次元コード（以下、QRコード）から音声やフラッシュカード、外部資料などを利用することができ、主体的、自律的な学習が可能になるよう工夫した。

## ■各Unitの構成■

### (1) 導入ページ

- ・ Goals of This Unit：そのUnitでどのようなことを学び、どのようなことができるようになるのかを知る。
- ・ What do you think?：写真を見ながら、今から学習するテーマに関わる問いについて考えて話し合う活動。
- ・ QRコードからテーマに関する外部資料を利用することができる。

## <Part 1> (Unit 1～3のみ)

### (2) Listen Up 1

- ・短めの対話や発表などを聞いて、その概要や要点を把握する活動。
- ・内容を確認する設問は選択式とし、生徒の負担を軽減した。また、設問の意図がはっきりするよう、Gist (概要)・Detail (詳細)のアイコンを付した。
- ・QRコードから音声を利用することができる。

### (3) Passage 1

- ・約280～440語の短い英文を読む活動。音読活動やリテリング活動につなげられるように、文構造や語彙の負担が少なくなるよう配慮した。
- ・英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。
- ・記事を読む、プレゼンテーションを読むなど、具体的な場面や状況を設定した。
- ・QRコードから音声を利用することができる。
- ・Key Words : Passage 1の読解においてキーとなる語句を明示した。右ページに意味と使い方を確認する活動を用意した。
- ・New Words & Phrases : Passage 1の新出単語と発音記号、重要フレーズをまとめた。新出単語はQRコードから音声とフラッシュカードを利用することができる。重要フレーズの例文は、巻末の「Phrases & Examples」に掲載した。
- ・Comprehension 1 : Passage 1の概要や詳細、パラグラフの主題、文章から推測できることなどを確認する設問。生徒の負担を軽減するため選択式とし、設問の意図を明示するために、Gist (概要)・Detail (詳細)・Inference (推測)のアイコンを付した。
- ・Summary : Passage 1の内容を伝えるリテリング活動。ヒントとなる写真やキーワードを示した。
- ・Express Yourself : Passage 1 (Unit 4～8ではPassage)に関連するトピックについてペアやグループなどでやり取りをして、考えを伝え合う活動。

## <Part 2>

### (4) Listen Up 2 (Unit 4～8ではListen Up)

- ・まとまった長さの対話や発表などを聞いて、その概要や要点を把握する活動。
- ・Pre-listeningとして、これから聞く内容に関する問いやキーワードを確認する設問を用意した。
- ・内容を確認するための選択式とキーワードを書き取る設問を用意した。また、設問の意図がはっきりするよう、Gist (概要)・Detail (詳細)のアイコンを付した。
- ・QRコードから音声を利用することができる。

### (5) Key Words

- ・Passage 2 (Unit 4～8ではPassage)のキーワードを確認しながらその内容を推測する活動。

### (6) Passage 2 (Unit 4～8ではPassage)

- ・約740～940語のまとまった長さの英文を読む活動。
- ・英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。
- ・報告書を読む、プレゼンテーションの要旨を読むなど、具体的な場面や状況を設定した。
- ・QRコードから音声を利用することができる。
- ・傍注 : Passage 2の新出単語と発音記号、重要フレーズを示した。新出単語はQRコードから音声とフラッシュカードを利用することができる。重要フレーズの例文は、巻末の「Phrases & Examples」に掲載した。
- ・Comprehension 2 : Passage 2の概要や詳細、パラグラフの主題、文章から推測できることなどを確認する設問。設問の形式は、 True or False、 選択式、 Q&A、 キーワードの書き取り (ノートテイキング)、とバラエティを持たせた。選択式の問題については、設問の意図を明示するために、Gist (概要)・Detail (詳細)・Main idea (パラグラフの主題)・Inference (推測)のアイコンを付した。
- ・Activity : Passage 2の内容を踏まえながら、自分の感想や考えなどを伝える言語活動。具体的な使用場面を意

識した活動を設定した。

## <まとめの活動>

### (7) Vocabulary Review

- ・ Passage 1とPassage 2に出てくる重要語句について、その意味を理解して英語での定義を確認する設問。

### (8) More Information (コラム)

- ・ Unitで扱った題材をより深く理解するためのコラム。

### (9) Project

- ・ 全体のテーマに関するトピックについて、調べた情報をまとめ、自分の意見や感想を交えて発表する言語活動。
- ・ QRコードから活動例を参照することができる。

## ■Unit以外の教材・資料等■

### (1) Supplementary Reading

- ・ 約980~1,170語の読み物教材を3本用意した。
- ・ Comprehension：内容を確認する設問は選択式とし、生徒の負担を軽減した。設問の意図を明示するために、Gist (概要)・Detail (詳細)・Inference (推測)のアイコンを付した。
- ・ QRコードから本文の音声と新語の音声・フラッシュカードを利用することができる。

### (2) Column

- ・ 英語の学習法に関するコラム。

### (3) Information Box

- ・ Unitで扱った題材についての背景知識を深めるためのコラム。

### (4) Phrases & Examples

- ・ UnitのPassage 1とPassage 2およびSupplementary Readingに出てきた重要フレーズをまとめ、その例文を付した。

### (5) Word List, Phrase List

- ・ 新出単語と重要フレーズのリスト。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容										該当箇所 (ページ)	配当 時数
	(1)	(2)	(3)									
			①				②					
			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ		
Unit 1 Crossing Barriers	ア、イ、ウ、 エ	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	14-26	13
Unit 2 Sports People	ア、イ、ウ、 エ	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア)	(イ)	(イ)	(ア) (イ) (ウ)	(ア、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	28-40	13
Unit 3 Ethical Consumption for a Sustainable World	ア、イ、ウ、 エ	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア)	(ア)	(ア) (イ)	(ア、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	42-54	13
Supplementary Reading 1 Finding Flow	ア、イ、ウ、 エ	ア	ウ								56-62	3
Unit 4 Saving Agriculture	ア、イ、ウ、 エ	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア)	(ア)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (ウ)	(ア、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	64-75	13
Unit 5 Sustainable Cities and Communities	ア、イ、ウ、 エ	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	76-87	13
Unit 6 Language and Thought	ア、イ、ウ、 エ	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア)	(イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (ウ)	(ア、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	88-99	13
Supplementary Reading 2 Working to Support Astronauts	ア、イ、ウ、 エ	ア	ウ								100-107	3
Unit 7 How Can We Make a Peaceful World?	ア、イ、ウ、 エ	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア)	(ア)	(イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (ウ)	(ア、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	108-119	13
Unit 8 Empathy and Human Beings	ア、イ、ウ、 エ	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア)	(ア)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア)	(ア、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	120-131	13
Supplementary Reading 3 International Assistance: Interview with Ogata Sadako	ア、イ、ウ、 エ	ア	ウ								132-137	3
Column ①～④	ウ										27, 41, 55, 138-139	2
Information Box	ウ										140-147	
Phrases & Examples	ウ										148-154	
Word List	ウ										155-158	
Phrase List	ウ										159-160	
											計	115